

## タイの財閥(セントラルグループ)について

バンコック駐在員事務所

小沢 康正

サワディーカップ。今回は『タイの財閥(セントラルグループ)』についてレポート致します。

近年タイの財閥は海外 M&A を活発化させておりますが、その代表格がセントラルグループではないでしょうか。2011年にイタリア・ミラノの高級百貨店『ラ・リテシエンテ』、2013年にデンマーク・コペンハーゲンの老舗百貨店『イルム』、2014年にマレーシアの衣料販売大手『HCH グループ』、2015年にドイツの百貨店グループ『カーデーヴェー』傘下の百貨店3店舗、2016年にフランス小売大手カジノからビッグ C ベトナムを買収しました。このように海外 M&A を重ねて拡大したタイ有数のコングロマリットについてまとめましたので、タイへ進出を検討される際の一助としていただければ幸いです。

セントラルグループの事業は、小売を基幹事業としホテル・外食・食品・不動産など多くの分野をカバーしています。特徴は Central デパート群をバンコク中心部に集め飲食・食品部門との相乗効果を図っている点です。

### ■グループの概要

業種	企業名	概要
小売	セントラル・デパートメント・ストア・グループ	Central World、Central Embassy 等の巨大デパート群
	ロビンソン・デパートメント・ストア	低価格帯デパート Robinsons、家電量販店パワー・バイ
	サイアム・ファミリーマート	コンビニチェーンでタイ国内に 1,134 店舗
	ショップ・グローバル・タイランド	サハ・グループや住商と組んだテレビ通販
	コモノヤ	ワッツと組んだ 100 円ショップ
不動産・外食	セントラル・パタナ	グループの不動産会社
	セントラル・プラザ・ホテル	グループのホテルや外食産業の統括会社
	セントラル・レストラン・グループ	大戸屋やミスタードーナッツ等多くの日系企業と提携
食品・飲料	アビコ・ホールディングス	牛乳・乳製品製造
	マリー・サンブラン	マリーブランドのフルーツジュースが主力製品
	セントラル・フード・リテール・グループ	デパート内の食料品売り場、Tops ブランドのスーパー

セントラルグループは毎年 400 億 THB(約 1,200 億円、1THB=3 円換算)を超える予算を投じて事業拡大を進めています。2017 年は 455 億 THB を投じる予定で、うち 60~70%は新規プロジェクト、30~40%は既存店舗の改装や IT システムの拡充に使用します。BIG プロジェクトも目白押しで、高級デパート Central Embassy 内に高級ホテルパークハイアット・バンコクを 2017 年 6 月に開業予定の他、ドゥシタニ・グループ(タイのホテルチェーン)と提携してバンコク中心部にランドマーク的な商業施設を 2022 年に開業させる計画もあります。また海外においてもカタルやオマーンでホテル開業予定があり、国内外で積極的な事業拡大を推進しています。

タイにはダイナミズムを持つ財閥が数多くあります。そのダイナミズムに乗るべくタイへの進出を検討してみたいかがでしょうか。